

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】 近畿財務局長
【提出日】 平成23年12月28日
【四半期会計期間】 第37期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】 株式会社シャルレ
【英訳名】 CHARLE CO., LTD.
【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岡本 雅文
【本店の所在の場所】 神戸市中央区港島中町七丁目7番1号
【電話番号】 該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】 該当事項はありません。
（上記は登記上の本店所在地であり、実際の本社業務は下記において行っております。）
【最寄りの連絡場所】 神戸市須磨区弥栄台三丁目1番2号（本社）
【電話番号】 078(792)8565
【事務連絡者氏名】 経理部長 奥平 和良
【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
（大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年8月12日に提出いたしました第37期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）の四半期報告書の記載事項の一部に訂正を要する箇所がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

会計方針の変更等

3【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

【会計方針の変更等】

（訂正前）

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年6月30日)
(在外子会社の収益および費用の換算方法の変更) 在外子会社の収益および費用は、従来、当該子会社の決算日の直物為替相場により換算しておりましたが、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より、期中平均為替相場により換算する方法に変更しております。そのため、前第1四半期連結累計期間と当第1四半期連結累計期間で、在外子会社等の損益の計算方法が異なっております。 これに伴う損益に与える影響は軽微であります。

（訂正後）

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年6月30日)
(在外子会社の収益および費用の換算方法の変更) 在外子会社の収益および費用は、従来、当該子会社の決算日の直物為替相場により換算しておりましたが、前連結会計年度より期中平均為替相場により換算する方法に変更しております。そのため、前第1四半期連結累計期間と当第1四半期連結累計期間で、在外子会社等の損益の計算方法が異なっております。 これに伴う当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は、売上高 0百万円、営業利益0百万円、経常利益0百万円、税金等調整前四半期純利益0百万円であります。

以上